

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科	
科目名称	肢体不自由児の心理・生理・病理						授業形態	講義	
科目コード	750138	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	野村 宗嗣								
授業概要	<p>肢体に不自由のある子どもの生理や心理特性を理解する上で、うまく動作が行えないことが、どのように認知発達に影響を及ぼすかといったことや、意図にそった動作を行うためには、どのような指導や支援がよいのかを学ぶとした。</p> <p>授業計画の後半においては、脳性まひのある児童生徒、進行性筋ジストロフィー、二分脊椎のある児童生徒の理解や支援について学ぶものとした。</p>								
関連する科目	重複障害児教育総論 肢体不自由児教育総論 病虚弱児の心理・生理・病理								
授業の進め方 と方法	<p>肢体不自由児の行動特性といったものを、解剖学的、生理学的、心理学的観点から理解するため、人間の身体の仕組みについて学ぶ。まずは、関節と筋肉、神経が如何に関係し、動作として実行できるのかを、心理的な範疇も含めて、学ぶものとした。</p>								
授業計画 【第1回】	第1回：肢体不自由の発生原因								
授業計画 【第2回】	第2回：肢体に不自由のある子どもの生理と心理特性								
授業計画 【第3回】	第3回：肢体に不自由のある子どものからだの動きと姿勢								
授業計画 【第4回】	第4回：脳性疾患、脳の抑制機能、固有感覚、前庭感覚								
授業計画 【第5回】	第5回：感覚過敏の理解と対応								
授業計画 【第6回】	第6回：胎生期、新生児期、乳児期における身体機能の獲得と発達								
授業計画 【第7回】	第7回：障害の重度・重複化とその要因								
授業計画 【第8回】	第8回：重度・重複障害のある子どもの健康								
授業計画 【第9回】	第9回：発作の理解と対応								
授業計画 【第10回】	第10回：拘縮予防と身体のリラクゼーション								
授業計画 【第11回】	第11回：呼吸障害と姿勢づくり								

授業計画 【第12回】	第12回：側弯の進行予防と装具、座位保持椅子の活用、
授業計画 【第13回】	第13回：医療的ケアの動向と課題
授業計画 【第14回】	第14回：保護者との連携、訪問教育
授業計画 【第15回】	第15回：就学前の肢体に不自由のある子どもの教育と療育
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肢体不自由児の教育にとって必要である基本的な心理、生理及び病理について理解する。</li> <li>・肢体不自由児の支援を、学校教育のみならず、医療や福祉、保護者との連携や療育での支援の在り方も含めて、包括的に支援していく必要性を理解する。</li> </ul>
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	[予習]次時の学習に向け提示される課題や配布される資料等を読み、講義内容の概略を理解するとともに、用語等の意味を調べる。(1.5時間)
授業時間外の学修 【復習】	[復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。授業から提示された課題等に対して、自分なりの対処方法や見解をレポートにまとめる。(1.5時間)
課題に対する フィードバック	毎回の要点整理のレポートと課題に対するレポートは、次時の授業時間に評価・解説を行う。
評価方法・基準	以下3項に基づき、評価する。 ①要点整理のレポート提出：20% ②定期試験：60% ③課題レポート：20%
テキスト	使用しない。
参考書	適宜、資料等を配布
備考	